

PRESS RELEASE

報道関係各位

2014年3月14日
株式会社ディノス・セシール

～国産材を活用した家具や暮らしの道具を提案～
ディノスが、新WEBコンテンツ『木のある暮らし』を
3月14日、ディノスオンラインショップ内にオープン

株式会社ディノス・セシール（本社：東京都中野区）は、来る3月21日（金）の「国際森林デー（2012年に国連が制定）」に先立ち、ディノスオンラインショップにおいて、国産材を積極的に活用した、家具や暮らしの道具を提案する常設コンテンツ『木のある暮らし』（<http://www.dinos.co.jp/special/fur/wood/>）を、3月14日に開設します。

本WEBコンテンツは、**1.消費者が価格ではなく、その価値を認めて選ぶようなモノづくり、2.国産木材活用の意義や匠の意思、技術を、多くの人に知ってもらう「出会い」の場所づくり、3.世界に誇れる made in japanの「木のある暮らし」を普及、発展させること、**を目的として開設します。

オープン時は、現在ディノスで展開中の、国産木材を使ったシリーズをラインナップし、こだわりの国産材家具や暮らしの道具を販売します。紀州檜の魅力や、和歌山県の匠「米山工芸」や、歴史を受け継いだ職人たちの技で生み出される、伝統工芸品「岩谷堂箆笥」で有名な、岩手県の匠「岩手県産」、上質材として名高く、堅牢で香り高い東濃檜の家具を作る、飛騨の匠「アオキウッド」など、それぞれの商品にまつわる産地の特性や、作り手の思いなども、奥深く丁寧に解説します。

また、本WEBコンテンツで販売する商品を通じ、国産材にちなんだ幅広い知識と情報、関連事業者の活動等についてもわかりやすく紹介します。

ディノスは、消費者と生産者が交流できる場として、一人でも多くの方に本WEBコンテンツに訪れていただくことで、単に商品を販売するだけでなく、国産材活用に対する理解や認知向上を目指します。

■『木のある暮らし』の特徴■

収録コンテンツ① 産地、メーカー（工房）別に商品进行分类
工房での作業風景や産地の森林風景などの写真をふんだんに盛り込みながら、メーカー独自の個性や長所、こだわりを説明します。

収録コンテンツ② 「森を守る」
森の健全化のため、間伐材を使うことの意義を伝えていきます。

コンテンツ②

間伐材を使うことの意味って？

森を健全に育てるために必要な間伐材

樹は、苗木を密集させて植栽することでまっすぐに育ち、商品価値が高まります。ただ、そのまま成長すると太陽光が地表に届かなくなり、よい木が育ちません。そこで、木の本数を適度に保つために行々の間伐をして、その時に伐採される木が、間伐材と呼ばれるものです。間伐することで、森の木は根を大きく張り、スポンジのように水分を蓄えることができます。また、森が蓄えた水分は蒸発分となった水として地下水や川を通じて、海に流れ込み、海の生態系も豊かにするのです。

